

戦略研究学会 第62回定例研究会のご案内

◎日時 2024年**2月3日**(土) 14:00～16:00

オンライン開催 (Zoom使用)

◎テーマ **台湾有事と離島防衛**

中国による台湾侵攻の危機が叫ばれ、その蓋然性から具体的な対応方法など、台湾有事を巡って様々な活発な議論が展開されている。しかし、その議論の盛り上がりのなかで、ややもすれば後ろに追いやられてきたテーマに、そうした事態下で、南西諸島を中心とした領域に暮らす人びとをどう守るのか、有事の際の国民保護を巡る課題が存在する。

国民保護においては、自治体や民間企業、そして住民自身の行動こそが問われることになる。第62回定例研究会では、国民保護の現状と課題について、この問題の研究・実務の第一人者である講師をお招きし、安全保障をめぐる議論が活性化するもとの見落とされがちな民間（企業）の役割にも焦点を当てて議論を行う。

◎報告者 **中林啓修**氏 国士舘大学准教授

討論者 **山下愛仁**氏 磐田市役所防災戦略監（元航空自衛隊）

講師プロフィールは裏面参照

◎プログラム

- 14:00～ 開会あいさつ
- 14:10～15:00 報告（中林啓修氏）
- 15:00～15:30 討論と応答
- 15:30～15:55 フロア質疑

◎参加費 **戦略研究学会会員 無料 非会員 1,000円**

■参加方法

会員・非会員とも **事前参加登録** が必要です **1月29日締切（厳守）**

- ①学会HPの専用サイトから事前参加登録してください
- ②非会員の方には参加費納入口座をメールにてお知らせしますので
1月31日までに振込手続きして下さい（事前納入が完了しないと参加できません）
- ③当日のアクセス URL は **2月1日頃**にお知らせします。

戦略研究学会

113-0033 東京都文京区本郷 3-3-13

TEL 03-3813-4466 FAX 03-3813-4615 <http://www.j-sss.org/> jimukyoku@j-sss.org

◎報告者

中林啓修氏（国士舘大学防災・救急救助総合研究所 准教授）

慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科後期博士課程単位満了修了（2010年3月博士〔政策・メディア〕取得）。独立系シンクタンク、明治大学危機管理研究センター勤務等を経て、2013年から2016年3月まで沖縄県知事公室地域安全政策課主任研究員を務める。その後、阪神・淡路大震災記念・人と防災未来センター主任研究員ののち、2020年4月より現職。

主な業績に、「武力攻撃事態における国民保護に関する制度運用の全体像と課題」、武田康裕編著、『論究日本の危機管理』（芙蓉書房出版、2020年）；「先島諸島をめぐる武力攻撃事態と国民保護法制の現代的課題—島外への避難と自治体の役割に焦点をあてて—」『国際安全保障』（第46巻第1号、2018年6月）；「令和元年東日本台風での災害派遣をめぐる自治体と自衛隊との連携に関する研究：派遣先自治体への質問紙調査を中心に」『地域安全学会論文集』（No.40、2022年3月）；退職自衛官の自治体防災関係部局への在職状況と課題—本人および自治体防災関係部局への郵送質問紙調査の分析を通して—『地域安全学会論文集』（No.31、2017年11月）（辻岡綾との共著。地域安全学会論文奨励賞受賞）などがある。



◎討論者

山下愛仁氏（静岡県磐田市役所 防災戦略監）

駒澤大学法学部卒業、駒澤大学大学院法学研究科博士後期課程（公法学専攻）満期退学。航空自衛官として第22高射隊長、航空幕僚監部法務官（企画・訴訟担当）、静岡地方協力本部長、航空幕僚監部サービス室長、航空研究センター研究企画管理室長、防衛省航空自衛隊幹部学校航空研究センター長、航空幕僚監部首席法務官などを歴任。この間、慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科特任教授のほか、慶應義塾大学総合政策学部非常勤講師、駒澤大学法学部非常勤講師を務め、2023年3月に退官、同年4月より現職。

主な業績に、『国家安全保障の公法学』（信山社、2010年）；『空と宇宙の戦略原論』（石津朋之との共著、日本経済新聞出版、2019年）；「『武力攻撃事態』認定の解釈方法に関する一試論」『防衛法研究』（第46巻、2022年）；「包括的抑止戦略の必要性和防衛力整備のあり方について」『エア・アンド・スペース・パワー研究』（平田英俊との共著、第7巻、2021年）；「グレーゾーン事態への対応方法としての危機管理—その有用性と限界—」（『エア・パワー研究』第3号、2016年）などがある。

